

メッシュネットワークによる ブロードバンド無線通信への挑戦



第1回・国際シンポジウム

■趣 旨

ユビキタスブロードバンド社会の到来と言われて久しいが、我々は、いつでも、どこでも、誰とでもコミュニケーションできるようになったのだろうか。高層ビルの上層階、地下街で感じるように、現状、その環境は発展途上の段階であるといえるだろう。携帯電話に象徴されるような無線通信は、このユビキタスブロードバンド社会の発展の鍵を握る存在となりつつある。無線通信はどこでも利用することが出来るというメリットがあり、今後、我々は、場所を問わずストレスなくインターネット上のサービスを楽しめる環境の到来を望むようになるだろう。一方で、インターネットは日々進化しており、要求されるデータ通信量は急激に増加している。この環境下で、いつでも、どこでも快適な通信を行うためには、通信網の伝送効率向上、かつ、通信エリアの拡大が必須となってくる。しかしながら、これを実現するには様々な課題が横たわっている。本フォーラムでは、無線通信を支える多様な分野のエキスパートをお迎えし、北米の先進的な事例を交えながら、次世代無線通信を実現するための課題を明らかにしていく。そして、今後、無線通信が発展していくことにより、我々の生活にどのような変化をもたらしていくのか考えていきたい。

■日 程

日 時 : 2008年2月27日(水) 9:00-11:30

場 所 : ホテルニューオータニ博多 <http://www.newotani.co.jp/hakata/>

■スケジュール

9:00-9:15	開会の辞 「MIMO-MESH プロジェクト概略」 九州大学大学院 システム情報科学研究院 准教授：古川 浩
9:15-10:00	基調講演 「世界における市営無線ネットワークの動向 ～現在、そしてこれから～」 Muniwireless.com LLC (オランダ) CEO：エスミ・ヴォス
10:00-10:15	休憩 (PicoMesh 試作品展示)
10:15-11:30	パネルセッション 「各国のブロードバンド無線アクセスの現状と課題」 パネリスト ・ Muniwireless.com LLC (オランダ) CEO：エスミ・ヴォス ・ 台湾科技大学 准教授：レイ・グワン・チャン「マルチホップ ワイヤレスネットワーク」 ・ データリソース社 シニアアナリスト：竹内 敬治「メッシュネットワークのエネルギー問題」 ・ FON JAPAN チェアマン：千川原 智康「(未定)」 セッションコーディネーター 九州大学大学院 システム情報科学研究院 准教授：古川 浩
11:30	閉会の辞 九州大学大学院 システム情報科学研究院 准教授：古川 浩

■お問合せ

<http://www.picocellular.net/>

info@picocellular.net Phone/Fax 092-802-3583

